

情勢報告

地区外の栽培を見る現地研修は勉強になった！



1 月 13 日、中芸地区で技術研修を目的とした安芸ブロック青年農業士の交流会を行い、室戸、安芸の農業士 8 人が参加した。栽培技術の違いや天敵導入に温度差がある地区同士の交流は互いに刺激になり技術向上につながるため、年 1 回開催されている。

農業士は普及指導員進行のもと、安田町・奈半利町のピーマン、ナス、ミョウガ等の高品質多収農家・天敵導入農家 3 戸で現地研修を行った。農業士からは、肥培管理や天敵活用管理のポイント等について多くの質問があり、情報交換では互いに共通認識を深めることができた。

振興センターでは、今後も継続して活動を支援する。

土佐鷹普及推進協議会が開催される



土佐鷹普及推進協議会が1月18日にJA土佐あき本所で行われた。同協議会では2月に開催する土佐鷹推進大会や次園芸年度の普及予定面積の確認、また2～3月に行う各集出荷場での土佐鷹推進説明会について、JA、園芸連、生産者代表、振興センターが集まり協議した。

振興センターは、普及推進協議会で協議する推進大会の内容や準備会への参画や土佐鷹推進の予定面積の積み上げへの支援・協力を行った。

次園芸年度の土佐鷹面積拡大に向け、年度内の活動に取り組んでいく。

北川村くぶつけ集落営農組合柚子部反省会



反省会

1 月 21 日、北川村くぶつけ集落営農組合柚子部反省会を 6 名参加のもと行った。22 年に実施した共同防除、部会活動の取り組み、また 23 年の活動計画について話し合った。振興センターは進行役を務め、議論の中で活動を評価し、発言を促した。今年から青果出荷を始める農家が 3 戸になったのでこの増加部分をどうするか等指摘した。また、部会活動では視察研修に代わり、振興センターが準備して青果出荷に向けた取り組みを中心に勉強会を行うこととした。振興センターではこれらの勉強会に積極的に参加し支援する。